

11/24-30#35永遠の命の交わりーキリストのからだの
中に生きることを実際:Ⅰヨハネの手紙、特に彼の第
一の手紙は、永遠の命の交わりについての奥義を
明らかにしています。Ⅰヨハネ1:3 私たちが見たもの、
聞いたものを、あなたがたにも伝えます。それは、あな
たがたも私たちと交わりを持つためです。私たちの交
わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交
わりのことです。Ⅰ交わりは、すべての信者の内側にある
永遠の命の流れであり、それは新エルサレムにある
命の水の流れによって例証されています。キリストの
からだの実際、実際における召会生活は、私たちの
内側におられる主イエスの流れです。この流れる方
は、私たちの内側で第一位とならなければなりません。
啓22:1 また御使いは、水晶のように輝く命の水の
川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通
りの中央を流れていた。Ⅱ交わりは、流れる三一の神
です。御父は命の源泉であり、御子は命の泉であり、
その霊は命の川です。この流れは、永遠の命の総合
計、すなわち、新エルサレムという結果になります。
Ⅲ交わりは、三一の神、すなわち、父、子、霊を、信者た
ちの中へと分け与えて、彼らの唯一の分け前と祝福
とならせ、彼らに今日、また永遠にわたって享受させ
ることです。Ⅳ交わりは、個人的な利益を捨て去って、
特定の共通の目的のために他の人たちと結合する
ことを示します。このゆえに、神聖な交わりの中にいる
ことは、私たちの個人的な利益をわきへ置き、使徒
たちや三一の神と結合して、神の定められた御旨を
遂行することです。Ⅴ交わりは、教えからやって来ます。
もし私たちが間違った事を教えたり、使徒たちの教え、
すなわち、神のエコノミーの教えと異なる事を教える
なら、私たちの教えは、分派的で分裂的な交わりを
生み出すでしょう。Ⅵヨハネの第一の手紙が啓示して
いることは、神聖な交わりの原則です。ヨハネの第二
の手紙が啓示していることは、キリストを否定する人
たちと私たちは交わりを持つてはならないということ
です。ヨハネの第三の手紙が啓示していることは、私
たちが神の家族の一つの交わりの中にとどまるべき
であるということです。それは、福音と言葉の務めとの
ために旅をする人たちを、神にふさわしく送り出すこ
とによってであり、また召会の中でかしらになることを愛
さないことによってです。Ⅶ永遠の命の交わりとは、そ
の霊の一の中でキリストのからだの中に生きることを
実際です。Ⅰヨハネ1:6 もし、私たちが神と交わりを持
っていると信じながら、暗やみの中を歩いているなら、
私たちは偽っているのであって、真理を実行していま
せん。Ⅱしかし、神が光の中におられるように、私たち
が光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、
御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めま

す。Ⅲ私たちは、神聖な霊、すなわち聖霊によって、神
聖な交わりの垂直の面に入ります。交わりのこの面
は、私たちが三一の神を愛して彼と交わることを指し
ています。Ⅳコリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、
神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共に
ありますように。Ⅴ私たちは、人の霊によって、神聖な
交わりの水平の面に入ります。交わりのこの面は、私
たちが霊を活用して互いを愛することによって、互い
に交わることを指しています。Ⅵピリピ2:1 もしいくらか
でも霊の交わり、もしいくらかでも情け深さと同情がある
なら。Ⅶ一つの神聖な交わりは、織り交ぜられた交わり
です。すなわち、水平の交わりは垂直の交わりと織り
交ぜられています。Ⅰ使徒たちの初期の経験は、御父
との、また御子イエス・キリストとの垂直の交わりでし
た。しかし、使徒たちは永遠の命を他の人たちに伝え
たとき、神聖な交わりの水平の面を経験しました。Ⅱ使
徒2:42 そして、彼らは使徒たちの教えと交わりを堅く
持ち続け。Ⅲ私たちと聖徒たちとの水平の交わりは、
私たちを主との垂直の交わりへともたらします。その
後、私たちと主との垂直の交わりは、私たちを聖徒た
ちとの水平の交わりへともたらします。Ⅳ私たちは、神
聖な交わりの垂直の面と水平の面の両方を維持し
て、霊的に健康にならなければなりません。Ⅴ神聖な
交わりは、クリスチャン生活におけるすべてです:
Ⅰ交わりがなくなるとき、神もなくなります。神は交わり
としてやって来ます。Ⅱこの神聖な交わりの中で、神は
私たちと織り交ぜられます。このように織り交ぜること
は、神と人とのミングリングであり、神聖な構成要素を
私たちの霊的存在の中へともたらして、私たちを命
において成長させ、造り変えます。Ⅲ神聖な交わりは、
私たちをブレンディングし、私たちを調節し、私たちを
調整し、私たちを調和させ、私たちを共にミングリング
して、一つからだとなさせます。Ⅳコリント10:16 私たちが
さくパン、それはキリストの体の交わりではありません
か?Ⅴ神聖な交わりの享受の中にとどまるために、
私たちはキリストを、私たちの性質の中の内住の罪
のために、罪のためのささげ物とする必要があります、また
私たちの振る舞いの中の罪深い行為のために、違
犯のためのささげ物とする必要があります。Ⅵヨハネ
1:29 その翌日、ヨハネはイエスが自分の所に来られ
るのを見て言った、「見よ、世の人の罪を取り除く神の
小羊!」。ローマ8:3 神は、ご自身の御子を罪の肉の
様で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされ
ました。Ⅶ罪はサタンの邪悪な性質です。サタンはア
ダムの墮落を通して、自分自身を人の中へと注入し
ました。そして今や不法の罪深い性質となって、墮落
した人の中で一つの法則として住み、活動し、働いて
います。Ⅷキリストを私たちの罪のためのささげ物とす

ることの意味は、私たちの古い人が対処されること、堕落した人の性質の中にある罪が罪定めされること、罪そのものであるサタンが滅ぼされること、この世が裁かれること、この世の支配者が追い出されることです。**1**「この世の支配者」の「支配者」という言葉は、権威や権力、また権力を求める争いを暗示しています。**2**権力を求める争いは、肉、罪、サタン、この世、この世の支配者から出てきた結果、結末です。**3**私たちの肉の中にある罪の法則は、自然な力、強さ、活力であって、神と争います。罪のためのささげ物の法則は、私たちが享受している霊なるキリストの命の法則であって、それは私たちを罪の法則から自動的に、自然に解放します。**ローマ8:2** なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。**6**私たちが、私たちの罪のためのささげ物としてのキリストにあずかるのは、彼を私たちの命として、すなわち、他の人の罪を負う命として享受するという意味においてです。それによって私たちは、神の民の問題を負うことができます。それはキリストを彼らに、罪を対処する命として供給し、彼らをその霊の一の中に保つことによってです。**7**光である神と私たちとの真の、親密な、生きた、愛情に満ちた交わりを通して、私たちは自分が罪深いことを認識し、キリストを私たちの罪のためのささげ物、また違犯のためのささげ物とします。**1**私たちは主を愛して享受すればするほど、ますます自分がどんなに邪悪であるかを知ります。**2**自分が罪深い性質を持っていることを認識し、キリストを私たちの罪のためのささげ物とすることによって、私たちは裁かれ、征服させられます。この認識は私たちを保護します。なぜなら、それによって私たちは自分自身の中に何の確信も持たないようになるからです。**3**神を表現し代行するという目的のために神によって創造された人は、神以外のもののためであるべきではなく、絶対的に神のためであるべきです。こういうわけで、何であれ私たちが自分自身から行なう事は、良い事であれ悪い事であれ、それは自分自身のためです。それは自分自身のためであって、神のためではないのですから、それは神の目に罪深いものです。罪は、自己のためであることです。**創1:26** それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう…」。イザヤ43:7 私の名で呼ばれるすべての者を、私の栄光のために、私が創造し、形づくり、さらには造った。**ローマ3:23** なぜなら、すべての人は罪を犯したので、神の栄光に欠けており。**a**自分自身のために主に仕えることは、罪です。自分自身を宣べ伝えることは、罪です。**b**私たちの義なる行為をすること、例えば、施しをすること、祈ること、断食することは、自分自身のた

めに、自分自身を表現し見せびらかすためであるなら、それは罪です。**c**自分自身のために（自分の名声、地位、益、誇りのために）、他の人たちを愛することは、罪です。自分自身のために、自分の将来のために子供たちを育てることは、罪です。**4**主は私たちの失敗を用いて、私たちがどんなにひどく、醜く、忌むべき者であるかを見せます。それによって私たちは、自己からのものすべてを放棄し、完全に神に頼るようになります。**5**キリストを違犯のためのささげ物の実際とすることは、贖う方、照らす方、支配する方として彼を経験し、命の交わりの中で命の供給としての彼を享受することです。**1**私たちはキリストを私たちの違犯のためのささげ物とするとき、私たちのすべての罪と純粋でないものを徹底的に告白して、正しく純粋な良心を持つ必要があります。**2**もし私たちが自分の罪を告白するなら、神はご自分の言葉において信実であられるので、私たちの罪を赦してください、またご自分の贖いにおいて義であられるので、すべての不義から私たちを清めてくださいます。さらにまた、私たちの長兄であるキリストは、御父と共にある私たちの弁護者であり、私たちと御父との中断した交わりを回復してください。それは私たちが神聖な交りの享受の中に住むためです。**1ヨハネ1:9** もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。**1ヨハネ2:1** 私の小さい子供たちよ、私がこれらの事を書き送るのは、あなたがたが罪を犯すことがないためです。もしだれかが罪を犯すなら、私たちには御父と共にある弁護者、義人イエス・キリストがあります。**3**神の御子イエスの血の清めが解決するのは、神からの分離の問題、私たちの良心における罪定めの問題、サタンからの訴えの問題です。こうして私たちが神の臨在に満ちた日常生活を持つことができますようにします。**4**神聖な光の中で私たちの罪を告白して、キリストを私たちの違犯のためのささげ物とすることは、生ける水としてのキリストを飲んで、私たちが新エルサレムとなるための道です。**5**キリストを私たちの違犯のためのささげ物として受け入れ、罪の赦しを受けることの結果は、私たちが神を畏れ、神を愛することです。**IV. 私たちは神聖な交わりの中でキリストを享受しているとき、私たちの霊的生活における四つの極めて重要な事柄の循環を絶えず経験します。それは、永遠の命、永遠の命の交わり、神聖な光、神の御子イエスの血です。そのような循環は私たちを、神聖な命の成長において前進させます。そしてついに私たちは命の円熟へと至り、一人の完全に成長した人に団体的に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達します。**